

対アンティグア・バーブーダ 事業展開計画

2020年 4月 現在

基本方針 (大目標)		脆弱性の克服(カリコム加盟諸国共通)														
重点分野1 (中目標)		防災・環境														
開発課題1-1 (小目標)	【現状と課題】 小島嶼開発途上国であるアンティグア・バーブーダにおいては、ハリケーン等の自然災害による被害を緩和する取組が必要とされているほか、エネルギー源を輸入燃料に頼らざるを得ないことを背景に、再生可能エネルギー導入・省エネルギー推進が求められている。廃棄物管理分野では、官民が協力的な3R（廃棄物の発生抑制（リデュース）、資源や製品の再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））が導入されている。さらに、同国の気候及び地質上、慢性的な水不足が発生しており、総合的な水資源管理も必要とされている。				【開発課題への対応方針】 周辺諸国との連携・知見共有を念頭に置きつつ、防災、省エネルギー、再生可能エネルギー、廃棄物管理等の分野において、小島嶼開発途上国特有の脆弱性克服のために必要な支援を実施する。							支援額 (億円)	備考			
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	2019年度以前	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度						
	防災・環境問題改善	防災・環境問題改善支援プログラム	再生可能エネルギー・省エネルギー推進、防災対策、水資源管理及び廃棄物管理分野において、関連人材育成・組織強化を支援する。	経済社会開発計画	無償	■	■							2.00	防災関連機材	
				経済社会開発計画	無償	■	■							2.20	防災関連機材	
				カリブ地域総合防災アドバイザー	個別専門家		■	■	■	■	■			■		広域案件(カリコム14か国対象)
防災/環境分野(省エネルギー、水資源管理、廃棄物管理等)の課題別研修・青年研修				課題別研修他	■	■										
重点分野2 (中目標)	水産															
開発課題2 (小目標)	【現状と課題】 観光業に依存しているアンティグア・バーブーダは、産業の多様化を模索しており、中でも水産業は開発の余地が大きいセクターと位置付けられている。そのため、同国政府は、雇用増加、収入増加、食料安全保障及び海外市場に対する水産業の貢献度を高めることを目指している。				【開発課題への対応方針】 海洋生物資源の持続的利用の観点も踏まえ、過去に水産無償で建設された施設の有効活用を促進しつつ、水産業の持続的発展を支援する。これらの支援実施にあたっては、同様の課題を抱える周辺諸国との知見共有・連携も念頭に置く。							支援額 (億円)	備考			
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間											
	水産業の持続的発展への支援	水産業・漁村コミュニティ開発支援プログラム	過去の水産無償資金協力により導入された施設・機材等を活用しながら、周辺の貧困漁村・零細漁業従事者を中心としたコミュニティ開発に繋がる支援を行う。	経済社会開発計画	無償	■	■								2.00	水産関連機材
				水産分野の課題別研修	課題別研修他	■	■									
漁民と行政の共同による沿岸水産資源の保全管理強化プロジェクト				技プロ		■	■	■	■	■	■	■	■	■	4.30	広域案件6か国対象とし、支援額は全体額
その他																
その他	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考				
	その他個別の案件		教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■								0.18		

【凡例】 「協定」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「個別機材」(=個別機材)、「個別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国専門家)、「現地国内研修」(=現地国内研修)、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間)